



芝浦アーバンデザイン・スクールは芝浦工業大学デザイン工学科建築・空間デザイン領域が進める大学と地域が連携して都市の魅力を再発見・再検討するプロジェクトです。環境保全、安全安心、持続経済など都市のあり方と建築の意味がいま改めて問われています。教育、研究、社会貢献の3つの学びを通して建築、都市、地域の未来を探ります。2013年度から東京都港区と連携して行なっています。Shibaura Institute of Technology started Urban Design School Shibaura in 2013 autumn as a project of Universities as the Center of Communities (COC) approved by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The School is an academic and social program aimed at reconsidering cities and the built environment through education, research and service to local communities.

1 教育 地域の建築から学ぶ設計演習

アーバンデザイン・スクールにおける教育の柱は地域の空間資源を題材に行政や住民と意見交換して検討し成果を公開する交流型演習です。学生の視野拡大はもとより学生の提案を通して地域が自らを再発見します。デザイン工学科建築・空間デザイン領域3年プロジェクト演習は港区指定文化財の木造建築「旧協働会館」を取り上げています。2014年韓国CAU、2015年タイKMUTTというように海外の大学を招いて国際ワークショップを開催しています。学生が学外から実務者を招いて自主ゼミナールを企画運営しています。

2 研究 建築を通して都市を捉える

アーバンデザイン・スクールは地域の課題を見える化することを研究の目標としています。①地域の現状を模型・図面・写真に表現する、②地域が持つ可能性を建築のデザインを通して検証する、③他地域と比較して対象地域の課題を相対化する。大学の地元港区芝浦・海岸地区について基礎調査、フィールドワーク、卒業研究を行なっています。2013年バンコク、2014年台北、2015年香港というように東京と同じ水辺の大都市を訪問調査してアジアのアーバンデザインについて知見を広げています。

3 社会貢献 都市と地域に開かれた場

アーバンデザイン・スクールはまちづくりの知見と方法を大学と地域が共有することを社会貢献の目標としています。公開講座では住民・行政・企業・学生が同じ場に集まって議論します。展覧会や発表会を通して大学の成果を開示して地域の反応を教育研究にフィードバックします。2013年3回、2014年5回、2015年3回公開講座を行ないました。9月地元主催芝浦運河まつりと3月港区主催BAYAREA365DAYSには3年連続で参加し成果を出展しました。



プロジェクト演習2015 歴史的建築物の隣地
Timber Structure Adjacent to Heritage



学生企画運営ゼミナール
Independent Seminar



国際建築・空間デザインワークショップ
International Workshop SIT and KMUTT



香港訪問調査
Hong Kong



芝浦地区における水辺都市研究
Urban Tissue of Tokyo Inner Harbor



港区芝浦港南地区総合支所 知生き人養成講座 芝浦百景
Shibaura Landscape Heritage



芝浦運河まつり2015
Shibaura Canal Festival